

## LINEで自転車用ヘルメット奨励金申請!

市在住で15歳以上の着用者本人が申請する場合

必要なもの

- ・マイナンバーカード
- ・署名用電子証明書パスワード (6~16文字の英数字)
- ・ヘルメット購入時の領収書など

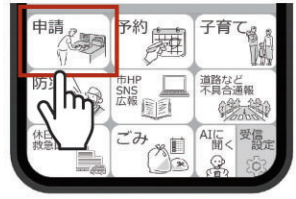


1 まずはLINEアプリをインストールし、廿日市市を友だち登録



▲二次元コードをスマホで読み取ると友だち登録できます

2 トーク画面下のリッチメニューから「申請」をタップ



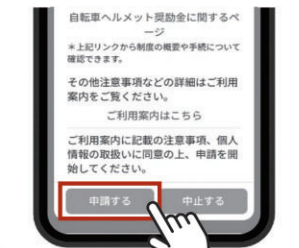
3 その他申請をタップ



4 自転車用ヘルメット奨励金の申請をタップ



5 「申請の前に」を確認し、「申請する」をタップ



6 ヘルメットの着用者はどなたですか? →ご自身(15歳以上)を選択



7 ヘルメット着用者が該当するボタン(廿日市市在住)をタップ



8 注意事項を確認し、同意する場合は「はい」をタップ

9 ヘルメットの購入価格(税込み)を入力

10 領収書などの写真・安全基準が確認できるマークの写真を撮影

11 名前・電話番号を入力

12 申請内容を確認し、マイナンバーの読み取り、本人確認に進む



13 申請完了

申請完了のメッセージが届けば、手続きは終了です。約1カ月後、市公式LINEから奨励金受取通知が届きます。通知を確認し、セブン銀行ATMで奨励金を受け取ってください。



ヘルメット奨励金に関して、詳しくは市ホームページを確認してください▶



他にも便利! 市公式LINEリッチメニューから...

広報はつかいちが読める

ごみの分別なども調べられる

休日当番医・救急診療や防災情報を見ることができる



リッチメニュー

広報はつかいち9月号特集 (2,3ページ) に関して感想をお寄せください▶



# スマホで簡単! LINE申請・予約

ライン

市では、証明、福祉や子育ての申請、各種予約など、さまざまな行政手続きをLINEから利用できるサービスを展開しています。

24時間いつでもスマートフォンから手続きができるため、市役所へ行く時間がない人や、窓口で待つ時間を減らしたい人にもおすすめです。

図 デジタル改革推進課 ☎ 9107

窓口に行く時間がない... 混雑しているかも...

待ち時間なしでいつでも申請できます!

申請方法が分からない...

画面の流れに沿って入力だから簡単!

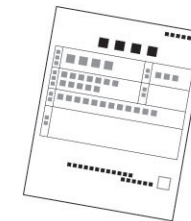
交通手段が限られていて、窓口に行くのが大変

どこでも申請できます!

申請・予約できる主な手続きを紹介!

### 証明・税金・その他 申請

- ・納税証明書の請求【**税制収納課**】
- ・宮島訪問税の申告【**課税課**】
- ・宮島訪問税証明書の再交付申請【**課税課**】
- ・自転車用ヘルメット奨励金の申請【**人権・市民生活課**】
- ・町内会・自治会加入希望の受け付け【**地域振興課**】
- ・定期救命講習の受講申請【**消防本部警防課**】



### 子育て・教育 申請

- ・こども医療費受給者証の新規申請【**こども課**】
- ・留守家庭児童会の入会申請【**こども課**】



### 各種予約

- ・育児相談の予約【**子育て応援室**】
- ・乳幼児健診の日程変更【**子育て応援室**】
- ・廿日市子育て支援センターの予約【**子育て応援室**】
- ・産前産後サポートセンターの予約【**産前産後サポートセンター**】
- ・地域包括支援センターの相談予約【**地域包括支援センター**】
- ・マイナンバーカード電子証明書更新予約【**市民課**】
- ・マイナンバーカード臨時窓口予約【**市民課**】

### 福祉・健康 申請

- ・国保限度額適用認定証の交付申請【**保険課**】
- ・思いやり駐車場利用証の交付申請【**健康福祉総務課**】
- ・福祉タクシー利用助成券の申請【**障害福祉課**】
- ・重度心身障害者医療費受給者証の再交付申請【**障害福祉課**】

他にも、LINEで申請・予約できる手続きがあります。詳しくは、市ホームページを確認してください。申請方法などを動画でも紹介しています▶



## 自転車用ヘルメットの奨励金を申請して

子どもが小学生になり、自転車の練習を始めようと思い、市から奨励金が出るということで、ヘルメットを購入することにしました。

日中は働いているので、市役所に行くことができないのですが、市公式LINEを使ったので仕事から帰った後に家で申請ができました。マイナンバーカード、購入したヘルメットとその領収書を手元に準備し、スマホの画面の表示に従って入力するだけで、申請にかかった時間は5分程度。

通知が来たら、セブン銀行ATMでお金を受け取るだけなのでとても簡単でした! 子どももかわいいヘルメットで自転車の練習ができて喜んでいました。



▲奨励金を申請した藤川さん親子